

「公共研究」執筆要領

1 表題：原稿内容の最も適切な要約であるようにする。欧文タイトル、執筆者名を付記する。

2 要旨：日本語の論説の場合、英語で 200 ～ 400words の英文 abstracts も提出する。

3 原稿

- ・文章は口語体、常用漢字、新かなづかいによる。

- ・日本語原稿の場合、外国語の使用は必要最小限にとどめる。アルファベットは半角文字を使用する。

- ・使用するソフトは MS-WORD もしくは MS-DOS テキスト形式とする。図表に関しては EXCEL ファイルも可とする。

- ・数式は 2 行分以上とり、文字・数字の大小を明瞭に区別する。数字は半角数字を使用する。

- ・生物の学名や記号のイタリック体はアンダーラインで指定する。

- ・文章の書き出しおよび改行は、必ず 1 字あけて書き始める。

- ・句点、読点およびカッコは 1 字分あける。

- ・原稿には必ずページ番号をふる。図表は別表とし、ページをふらない。

- ・原稿末尾に著者のかな書き氏名、所属機関名をカッコに入れて記入する。欧文の氏名、所属機関名等を付記する。

4 文献

4-1 引用文献

- ・本文中に引用は例にならい、著者の姓（紛らわしい場合は名前も併用）、発表年を書く。

例：鈴木（1991）は……………、渡辺（2003 a）によれば……………、……………とされる（田中・加藤、2004）。

- ・インターネットからの引用及び参考文献の場合、筆者が参照した年月日をアドレスの後に記入する。

例：

<http://www.redefiningprogress.org/publications/pdf/eeit.pdf>（2004 年 11 月 1 日）

4-2 参考文献

- ・参考文献は著者のアルファベット順に並べる。同じ著者のものは年代順に並べる。

同じ著者の同一年代のものは、引用順に a、b、c……………を付して並べる。また、同一著者の複数の文献を記載するときは、2 つめ以降の文献の表示には、氏名の代わりに、————（4 倍ダッシュ）を用いる。2 行以上になる場合は、2 行目以降は 1 文字下げる。

①書籍

著者名（出版年）『タイトル——サブタイトル』出版社名

例：広井良典（2003）『生命の政治学——福祉国家・エコロジー・生命倫理』岩波書店

②雑誌論文

著者名（出版年）「論文のタイトル」『雑誌名』巻(号): 論文の初ページ- 終ページ.

例：倉阪秀史（2001）「展望論文 環境に関する社会科学」『千葉大学経済研究』16(1): 129-140

③編書論文など

著者名（出版年）「論文のタイトル」編者名編・著者名『本のタイトル』出版社名、論文の初ページ- 終ページ

例：雨宮昭彦（2004）「グローバリゼーション、欧州統合とコーポラティズムの再建」廣田功・永岑三千輝編『ヨーロッパ統合の社会史』日本経済評論社、175-216

④外国語文献及び翻訳書・翻訳論文

著者名（発行年）タイトル（イタリック）：サブタイトル，出版元

（訳者名訳（翻訳の出版年）『訳書のタイトル』出版社名）

例：Etzioni, Amitai（2001）Next : the road to the good society, New York : Basic Books
（小林正弥監訳・公共哲学センター訳（2005）『ネクスト：善き社会への道』麗澤大学出版会）

著者名（発行年）‘タイトル’ in 編者名（ed (s)）・著者名 タイトル（イタリック）：サブタイトル，出版元

（訳者名訳（翻訳の出版年）「論文のタイトル」編訳者名編『訳書のタイトル』出版社名）

例：Vincent, Andrew（1998）‘Is Environmental Justice a Misnomer?’ in D.Boucher and P. Kelley (eds.) Social Justice : from Hume to Walzer, Routledge

（栗栖聡訳（2002）「環境的正義は誤称なのか」飯島昇藏・佐藤正志訳者代表『社会正義論の系譜：ヒュームからウォルツァーまで』ナカニシヤ出版）

外国語雑誌はイタリック体、単行本はローマン体とする。雑誌の巻数はボード体、号はカッコに入れる。巻がなく号だけのものは、No.3 のように書く。雑誌では最初と最後のページを- でつなげて書く。

例：Wolin, Sheldon（1969）‘Max Weber : Legitimation, Method, and the Politics of Theory’ , Political Theory , 9 (3) : 401-424

（千葉眞・中村孝文・斎藤眞編訳（1988）『政治学批判』みすず書房、157-199）

⑤ 調査報告書

研究代表者名（刊行年）『研究課題名』〇〇年度科学研究費補助金研究成果報告書、研究機関名

例：小林正弥（2005）『日本における公共哲学の構築のための包括的研究—地球的公共哲学ネットワーク形成に向けて』2001-2004 年度科学研究費補助金研究成果報告書、千葉大学

⑥政府刊行物など

編集機関名（出版年）『タイトル』

例：環境省（2004）『環境白書（平成16年版）』

⑦修士論文や学会報告原稿など

著者名（論文提出年）「論文のタイトル」〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇年度修士論文

⑧電子メディア情報

インターネット上のホームページの情報を文献として利用したときは、欧文の場合と邦文の場合それぞれについて、次のとおりとする。

著者名（公表年または最新の更新年）“当該情報のタイトル”（URL、アクセス年月日）

例：

Eissa, Nada, Richard Blundell and Laura Blow (2000) ‘Employment, Environmental taxes, and Income taxes’

(<http://www.redefiningprogress.org/publications/pdf/eeit.pdf>, May 16, 2005)

藤田宙靖（2000）「国の変革と市町村の役割」

(<http://www.law.tohoku.ac.jp/~fujita/heisei-20000222.html>、2004年10月1日)

CD-ROM、FD、視聴覚資料などを文献として利用した場合の記載は、書籍に準じるが、末尾に CD-ROM や FD、ビデオテープ、録音テープなどであることを明記する。例示すれば、次のとおりである。

日本公共政策学会（1998）『公共政策——日本公共政策学会年報』1（CD-ROM）

5 図表

- ・図表は各図、写真、表ごとに別紙とし、番号は図3、表2、写真5などと表す。
- ・図表は基本的に著者が作図するものとする。ただし引用等で編集委員会が作成する場合、必要に応じて実費を徴収する。
- ・国土地理院、水路部等が発行している地形図、海図等を用いる場合には、あらかじめ許可をとり、その旨注記する。

6 書評

- ・書評の見出しは次の例にならう。

（例）

アンソニー・ギデンズ著、佐和隆光訳：第三の道—効率と公正の新たな同盟、東京：日本経済新聞社、286pp.、1999年、ISBN4-532-14771-9

Daly, Herman E. and Joshua Farely, (2004) Ecological Economics: Principles and Applications., Washington D.C.: Island Press, 440pp., ISBN 1-55963-312-3